

五領地区連合

自治会だより

第35号

平成29年3月25日

発行所
五領地区連合自治会

防災活動に一段と力

この三月で東北の大震災から六年になります。五領地区においても、避難訓練や、防災・減災フォーラムなど、防災活動に本年度も力を注いでまいりました。

防災・減災フォーラム

一月二十五日(水)五領公民館と共催で『防災・減災』フォーラムを開催しました。

出張所の本庄氏から防災知識講座が行われ、映像で被災地の様子や消防署の取組などが紹介されました。

続いて、金光大阪中学校・高等学校、イオン高槻市、ニチレイフーズ関西工場、五領地区連合自治会から災害時に地域連携として何ができるかを主に説明があり、出席した全団体で意見交換が行われました。

地域の連携を図る



なかでも、東日本大震災当時、宮城県にあるイオン多賀城店の店長として住民約六百人の避難活動にあたった、イオン高槻店の店長による避難時の体験談や津波の状況説明に、フォー

ラムに参加者した約五十人の方々は、熱心に耳を傾けていました。

参加者からは「具体的な話が聞けた」、「もっと話が聞きたかった」などの意見がありました。

このようなフォーラムの開催は、五領地区連合自治会としては、初めての試みでした。今後も連合自治会は、地域内の連携や住民の方々の防災意識の高揚を図れるような事業を進めてまいります。

金光、五領小・中学校で実施

避難誘導・受付、炊き出しなど

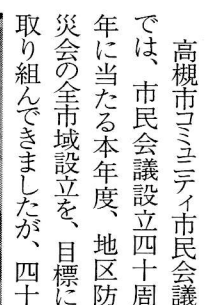
市民避難訓練

十月二十七日(日)高槻市とコミュニティ市民会議が共催で市民避難訓練が実施されました。

今年度は、市内南東地域(概ねJR東海道線より南側芥川より東側)を対象で、わが五領地区など、十の地区コミュニティが主体となり、避難所を開設し、午前十時の「地震発生」の屋外放送に合わせて、地域住民が避難を開始しました。五領地区で防災訓練の避難所となったのは、金光大阪、五領小、五領中学校で、訓練シナリオに基づき実施しました。市の方面隊等と連携し、展

示セットの設置、避難者受付訓練、誘導案内炊き出し訓練(アルファ化米のバック詰め、ゴミ出しなど)を実施しました。当日は雨の中の訓練で、屋外での訓練を屋内で行うなど変更を余儀なくされることもありましたが、当日約三百五十人の参加がありました。災害の備えは、こうした訓練や地域の絆が大切です。市としては、今回の訓練で、避難所の運営マニュアル作成を目指しており、地区としても完成後は、また段々と充実した訓練を展開していきたいものです。

地区防災会旗を掲げて



高槻市コミュニティ市民会議では、市民会議設立四十周年に当たる本年度、地区防災会の全市域設立を、目標に取り組んできましたが、四十周年記念大会の二月十日に達成の見込みとなり、五領地区にも防災会旗が授与されました。今後は、防災の行事に当たっては、この旗のもと開催をしていくこととなります。

また、地区防災会が果たす役割としては、地区内を網羅する連絡体制の確保、行政と協働した避難所運営と総合窓口を担う、自主防災会未結成自治会に対する結成支援などが上げられており、五領地区もこれをめざすこととなります。

平成28年度の行事

平成二十八年度連合自治会の主な行事を紹介します。

定期総会

昨年五月八日「連合自治会平成二十八年度定期総会」が開催され、平成二十七年年度の事業報告、同決算報告並びに監査報告、平成二十八年度の事業計画案、同予算案等を審議し、採択しました。

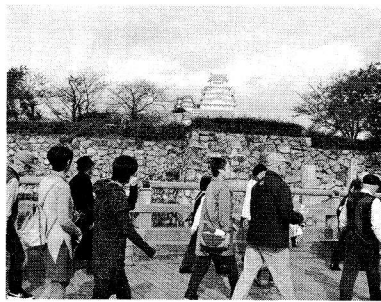
なお、役員については、会長に中原武、副会長に高須賀嘉章、高浪岸夫、野々上憲治、事務局長に田所順子、会計に宮本佳幸、監査に、

家木みどり、君野辰夫の各氏が選任され、顧問に塩見勝弥氏が就任しました。

社会見学

今回は「新装なった姫路城を訪ねて」ということで、十月十五日、世界文化遺産・国宝、姫路城を社会見学しました。「姫路城は、死ぬまでに行きたい世界の城」第二位、でもあり、今回、修理が行われ「本当に白いは、最初の二二年だけ、いまのうちにくいこう」とのことです。

姫路城、その圧倒的な姿は、白い鷲が舞い立つよう



姫路城内は、案内ガイド

文化展

第二十七回「五領文化展」(五領公民館との共催)が希望のメッセ「展・レインボーステージ2017」として、三月四日、五日にわたり、五領公民館で開催され、濱田市長、教育長、市民会議議長など、多くの観賞者でにぎわいました。

展示作品は、一階に☆五領書道サークル☆淀の原シニア



クラブ写真部☆遊彩会(絵画)、二階には☆五領陶芸サークル☆淀の原シニアクラブ書道部☆有蘭書道教室☆京華ペンクラブ☆水墨画サークル☆五領地区シニアクラブ連合会☆新婦人☆フラワーアレンジメント☆淀の原パッチワーク、五領中、五領小、上牧小、

第20回を迎えた五領ふるさとまつり

七月十三日「第一千回五領ふるさと祭り」が、五領小学校グラウンドで行われました。今年度は、一千回記念の大会となりテーマは、「時代を創れー文化を開けー」でした。

時代を創れ!

- ・第一部ヒューマンステージ
- ①大正琴(ドリム&ドリム娘、蘭香琴の会)
- ②金光大阪高校 チアリーダー部、女子ダンス部、アコースティックギター同好会

文化を開け!

- ③和太鼓天晴座
- ④沖繩三線
- ⑤千人ビンゴゲーム大会
- ⑥南中ソーラン 和朗園職員
- ・第二部の盆踊り
- 靖月会、高槻江州音頭保存会のメンバーの音頭にて五領ならではの盆踊り。江州音頭、河内音頭、炭坑節、高槻音頭などを踊りました。
- また、祭りのもうひとつの楽しみ模擬店は、自治会と

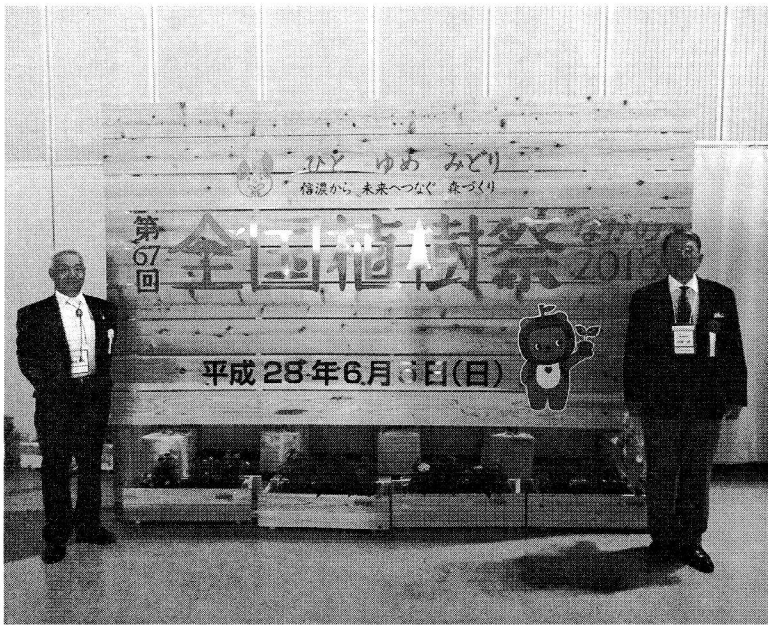
熊本地震救援募金

平成二十八年度四月十四日に発生した熊本地震に、地域の皆様から真心の救援金を募らせていただきました。四月二十九日には、地域役員及び学校関係者、PTA有志による上牧駅前街頭募金を始め、各自治会、学校、各種団体の協力により、百五十八万円を募金させていただきました。



五領幼稚園、上牧幼稚園などで、今回も昨年同様の出品がありました。レインボーステージ2017では、二日間にわたり多くの出演がありましたが、開会前、濱田市長が大正琴を一緒に演奏する場面もありました。

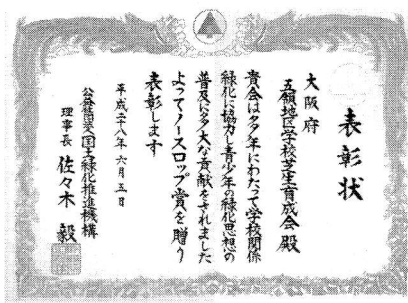
全国植樹祭で ノースロップ賞



平成二十八年、六月五日、長野市エムウエーブで行われた第六十七回全国植樹祭に特別招待者として参加、全日本学校関係緑化コンクールのノースロップ(協力賞)を受賞し、五領地区学校芝生育成会会長・中

原武さんと、事務局長・板倉克和さんが植樹祭に招待され、参加しました。

同賞は、明治時代、日本に学校教育の一環として植樹を導入したバード・ジー・グラント・ノースロップ博士にちなんで名づけら



二千年後の未来に向け、学校緑化を通し地域社会に貢献する決意を新たにしました。

五領・上牧小学校の芝生は、平成二十三年に子どもたちの居場所作りのために、地域が提案し、大阪府の「みどりの基金」を用いて敷き詰め管理してきました。

れたもので、学校緑化の協力者を表彰するもの。天皇皇后両陛下ご入場後、全員で熊本地震の犠牲者に黙祷をささげました。アトラクションの後、表彰式、両陛下のお手植え、お手撒きの儀へと進み、サプライズで登場した市川海老蔵が歌舞伎「勧進帳」の一節を披露する場面もありました。

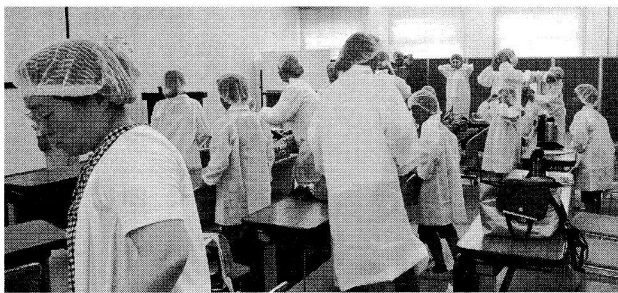
ニチレイ

親子見学会

地元にある企業での地域連携企画として、28年度は、ニチレイフーズ関西工場での夏休み特別企画「親子で工場見学会」を開催しました。

開催は、8月の、4、5、9、10、23の5日間。これまで、工場見学としてニチレイを訪問したことはありますが、親子で訪ねる企画は今回が初めてです。地域連携で始めて実現しました。

視点となるのは、「学び!発見!」～からあげチキンが出来るまで、を追いかけるとともに、包装ラインを見学。こんなに早いとの驚きと、ロボットでの箱詰めに感動。



次に「体験!」～濡れたタオルが凍る世界として冷凍庫体験、マイナス約25度の冷凍庫内で濡れタオルの実験がありました。

そして「試食!」～さてどんなお味か、試食と質問タイムがとられました。

イオン高槻店

P T A懇談会 仲秋月見会

進む事業所との地域連携



地域連携の取り組みを積極的に進めているイオン高槻店では、昨年度の期日前投票(本年度も実施)に続き、五領地区の小中学校PTAとの懇談会(写真上)を実施、イオン高槻店の物足りない点や、学校生活・社会行事での要望を聞く機会を設けるとともに、仲秋月見会(写真下)を9月17日に、同店の屋上で行いました。

内容は、お月様と宇宙の神秘 月夜のフラとキャンドルライトに希望を載せて・星空解説・観望会・フラダンス。紙コップキャンドル絵描きが受け付けられ、月見ぜんざいの配布もありました。会長、市長、市民会議議長、教育長、イオン近畿北陸カンパニー支社長からの挨拶がありました。

防犯活動

平成二十八年度の防犯活動を紹介します。

▼防犯委員研修

九月十五日、防犯委員研修会が、高槻市現代劇場で行われ大阪府防犯設備士協会平岡専務理事から「あなたは狙われている...犯罪への備え」と題して講演がありました。

リスクマネジメントの課題として①犯罪に対するリスクマネジメントの具体的手法②大阪府鹿野犯罪情勢と犯罪対策③あなたの街・家のリスクマネジメントの三点からの内容で、地区からも代表が参加しました。

▼全国地域安全運動の実施

十月十三日「全国地域安全運動高槻市・島本町防犯大会」が、みんなで力をあわせて安全・安心まちづくりをメインスローガンに高槻市生涯学習センターで行われ、防犯委員の代表が参加しました。

大会では、刑法犯罪は減少しているものの、身近な犯罪である子、ひったくりや、子ども、女性を狙った犯罪は、増加していると報告がありました。また、関西大学の学生ボランティア「社会安全隊」による防犯寸劇も行われました。

告がありました。また、関西大学の学生ボランティア「社会安全隊」による防犯寸劇も行われました。

▼支部の活動が紹介

防犯の機関誌「あんあん」に、五領支部の活動が紹介されました。支部では、イオン高槻店での特殊詐欺被害防止キャンペーンも実施



されており、地元のはな」のメンバーが活躍しています。

▼歳末防犯警戒

各自治会を拠点に、十二月二十九日、三十日を中心、歳末防犯警戒が実施されました。中心拠点の五領公民館には、二十九日、高槻市、高槻警察署、防犯協議会の代表の激励の訪問がありました。

日赤の活動

▼献血活動に協力

地域献血を九月十日、金光大阪中学校・高等学校及

び十一月二十日イオン高槻店に献血車を迎え献血推進活動に協力しました。そして、阪急高槻市駅ミング前などで、街頭広報として、ティッシュを配布して啓発に当たりました。献血に皆様のご協力をおねがいします。

▼研修会

高槻市赤十字奉仕団・高槻日赤友好会とが合同管外研修会を広島県大雨災害における救助活動と題して、平成二十六年八月二十日に発生した大災害に、連絡調整、医師・看護師の派遣等々発生時からの対処を研修しました。現地には大きな土砂災害の爪あとが残っていました。

▼社資募集の報告

活動を支える資金として

ホワイトコンサート

「第15回ホワイトコンサート」が、十二月二十三日金光大阪中学校高等学校校体育館で行われ、「音でつながる五領の絆—きずな—」というテーマのもと七つの団体による素晴らしいプログラムとなりました。



小学校の子どもたちの生き生きとした発表、中学生、高校生のパワーあふれる熱演、最後の各団体の演奏も圧巻でした。

あいにくの雨模様でしたが、千名をこえる参加者があり、十五回記念にふさわしいコンサートとなりました。

毎年実施されています。本年も各自治会のご協力により六十四万三千六百七十九円集まりました。今後よろしくおねがいします。

親子カーニバル

十一月五日、五領中学校で記念すべき「第30回親子カーニバル」が行われました。十二のブースに分かれ、元気いっぱいゲームや食べ物の販売が行われました。連合自治会からも、食べ物コーナーに「やきいも」で参加。

▼特定検診

六月二十日に実施し、受診者は、百十四名でした。平成二十七年の特定検診受

健康推進



シユモブ」で会場を盛り上げていただきました。また、各校の先生チームのパフォーマンスや、三校対抗の先生合戦のゲーム大会もあり、子どもも大人もひとつになつて交流が繰り広げられました。

▼特定保健指導

六月の特定検診の結果、メタボリックシンドロームのリスクがあり、生活習慣の改善で予防が期待される方に保健指導を実施しました。初回面接(平成二十八年七月二十五日)と最終面接(平成二十九年一月三十日)では、四名の方が参加されました。

表彰

五月三十日、高槻警察署管内防犯協議会の定期総会の表彰式で西村武さんが防犯功労者として受賞。

二月十一日、高槻市コミュニティ市民会議四十周年の記念大会では、高須賀嘉章さん、中原武さん、高浪岸夫さんが、永年功労賞を受賞。

それぞれ感謝状と記念品が贈られました。